

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年4月7日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690102290
法人名	株式会社 亀藤
事業所名	グループホーム 楽
所在地	鹿児島県鹿児島市中山町1207番地1 (電話) 099-203-0577
自己評価作成日	令和3年3月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年3月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自宅のような家庭的な環境の中で穏やかに自分らしく過ごせる環境づくりに努めている。また、地域の行事に参加したいと考え町内会長や民生委員の方から行事予定等の情報収集を行っている。しかし、今コロナ禍の状況の為、参加は行っていません。

入居者様の健康管理・体調変化・緊急対応時、主治医や看護師と医療連携の体制ができています。

残存機能を生かした自立支援に視点を置き、必要時には見守り・声掛け等を行い安心安全に努めている。個々のレベルに応じたレクリエーションや趣味や楽しみを提供できるよう工夫している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は母体医療機関の広々した敷地内の一角にある。事業所周辺に小学校や交番・ふれあいスポーツランド・公民館・飲食店があり、自然豊かで生活しやすい環境にある。
- ・24時間医療連携体制のもと、月2回の訪問診療や毎週1回訪問看護で入居者の体調管理に努め、適切な医療支援を受けられるよう支援している。
- ・地域密着型の事業所理念を考え、自立支援の視点で、ケアの実践に努めている。
- ・コロナ禍のため、外出支援を自粛し、散歩や敷地内の菜園で旬の野菜収穫や紙芝居などレクリエーションを工夫し楽しめるよう支援している。
- ・近隣住民との交流で、さくらんぼや梅などの差し入れがあり、ジャムを作り、ヨーグルトのトッピングやパン食に活用してしている
- ・管理者は職員の意見や提案を取り入れ、サービス向上に活かしている。職員のスキルアップの為、研修会や勉強会を実施し、日々関わりの中で声かけ指導を行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	認知症高齢者とその家族を支える事業者としての思いをスタッフと考え、理念として作成し、念頭に置きながら日々のケアを実施している	地域密着型の事業所理念をホールや廊下・事務所に掲示し、パンフレットにも掲載している。毎朝の申し送り時やミーティング・勉強会で理念を唱和し、共有して日々のケアに活かしたり、振り返りをして実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	季節ごとに行事を行い、地域の方々にもパンフレットを配るなどして当施設の事を知っていたくよう努力している 挨拶、会釈を交わしている	母体医療機関が町内会に加入している。事業所開設前に町内会長や民生委員・地域包括支援センター・消防分遣隊・交番・近隣住民へ挨拶回りを行い、地域情報を得ている。ホームでも菜園で収穫したものを近所に配ったり、散歩時の挨拶や梅・さくらんぼ等の差し入れがあり、親しく交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症についての資料をお配りし利用者家族及び地域の方々に、認知症の人への理解と支援方法を学んで頂いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では、地域の方や入所者様、そのご家族へ資料をお配りし施設の活動状況やその時節に合った勉強会を開催し、頂いた意見や助言等をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議の第1回目は家族・地域包括支援センター・市役所・消防・警察の参加を依頼したが、日程が調整できず職員のみで開催し、入居者や職員の状況・行事報告・感染予防対策等を話し合った。行政等へは文書で郵送し、意見やアドバイスを貰えるようしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>現在の入所者申し込み状況や待機状況を報告している 入所者増に向けての助言や意見を頂きながら相談に応じて貰っている</p>	<p>市へ3ヶ月毎に入居者状況と取り組み状況を窓口に出向いたり、メールやFAXで報告し、アドバイスを貰い協力関係を築きながら取り組んでいる。市主催の研修会にウェブ会議で参加し、グループホーム連絡協議会にも参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>グループミーティング・勉強会を開き、どういうものが身体拘束に繋がるのかを学び、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>マニュアルを基に身体拘束廃止委員会を中心に3ヶ月毎に開催し、月2回の勉強会も実施している。協力医療機関の看護師からケア時の対応等について学び、事例を出して具体的に話し合い身体拘束はしない事の徹底をしている。昼間は玄関の施錠はせずに、連携を取り合い見守りで自由に生活できるようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々の業務を通し、管理者・職員相互のケアを見つめ直し、入所者様への虐待がないか注意を払い、防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	認知症を患い判断能力の低下が見られる入所者様の方々への支援・援助を、家族の方々と交え対応している 今後、成年後見制度についての勉強会も実施していき、正しい理解を持ち、また積極的にその活用を図っていきたい		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は丁寧に説明し、生活の場としての事業所の立場を理解して貰えるように努めている また、医療連携体制についても説明し納得、理解、協力、同意を得られるようにしている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時に現状を報告し、ご家族の要望・意見をよく聞き、日々の運営に反映できるように努めている	利用者には日々の関わりの中で思いを聞き、家族からは面会時や電話で、現状報告し意見や要望を聞いている。毎月、便りで活動時の写真と生活状況を送り、その時にも要望等を聞いている。窓越しの面会を取り入れたり、「レクリエーションをもっと計画して欲しい」等の希望があり、意見を反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>スタッフの意見や要望を活かし議論する場を月2回のミーティングを設け実施している</p> <p>合意した事は速やかに日々の実践の中で活用できるようにしている</p>	<p>月2回のミーティングや申し送り、日々の関わりの中で気軽に会話をして意見や提案を聞いている。毎月の面談や必要時に時間を設ける等、意見や提案を聞く機会を設けている。シュレッダーなどの備品や福祉用具の購入の要望等があり、反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>意見や要望として話し合いの中で提案された事案は、随時代表者へ報告し、現状を理解してもらっている</p> <p>その中で向上心が持てるような意見を貰っている</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修の場や研修案内が届いた場合、積極的に勉強する機会をつくっている</p> <p>また、学んできた事を後日、内部勉強会に活用している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のグループホームとの情報交換を行い、そこでの活用できる点は、すぐに取り入れ介護の質の向上を図っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所の際に話し合いを持ち、本人の不安な事、要望を聞き出し、レクリエーションなどを通じ、本人が安心して暮らせるよう配慮している		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所の際の話し合いの中で家族の困っていること、不安なことを聞き取り、面会時などを通じてご家族の要望が活かされているか意見を聞き信頼関係づくりに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	母体病院でのリハビリ、訪問マッサージなど本人・家族と相談の上、利用できるよう配慮している		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員が入所者様の目線に立ち、何が必要で、何を欲しているかを把握し、より良い暮らしが共にできるよう信頼関係を築いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	スタッフは、家族来所時又は電話にて日々の出来事を家族に伝えている その事によって家族が安心感や本人への励ましの言葉を伝えられるように援助している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が望めば窓越しでの面会対応をしている また、馴染みの人との関係継続の為電話でのやり取り等支援している 外出を許可し、本人の友好関係がくずれることのないように配慮している	家族の面会や近隣友人・趣味仲間との訪問があったり、自宅近くまでのドライブ、家族の協力で行きつけの理美容室や墓参りに行っていたが、コロナ感染防止の為、キーパーソンのみ窓越し面会や電話・葉書き・スマホでコミュニケーションを図っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日のレクリエーションを通して、入所者様同士の交流を図っており、日々の生活の中で利用者同士の関係が良好に保てるように職員は目配り、気配りに努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	いつでも安心して声をかけ、相談に応じる態度を入所中から心がけており、退所されても継続していけるように考えたケアに取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意向が反映されるよう職員間の連携を図り、日々のケアに活かしている	日々の関わりの中で、特にお茶の時間・夜間帯・入浴時に思いや意向の把握に努めている。単語で話される利用者がいるが、本人中心の支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人との談笑や回想ゲームなどを通じ、今まで暮らしてきた経緯を把握し、ケアに活かせるように務めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の過ごし方を固定するのではなく、入所者様一人一人に合わせた生活ベースにできるように注意している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の要望を聞き、活かせるプラン、自立支援に取り組んでいる 担当介護スタッフのケアチェック表や日々の介護記録から問題点を抽出し、介護記録の作成に活用している	本人や家族の意見や要望を聞き主治医の意見を基に担当職員のケアチェック表や介護記録等から話し合い介護計画を作成している。モニタリングは月1回、3～6ヶ月で見直し、状況変化時はその都度、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の身体状況・行動・言動・生活の様子、スタッフの気づきなどからモニタリングしている さらに、その状況を個別記録に記入し、スタッフ間で共有している また状況の変化に応じて介護計画の見直しに役立てている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入所者様の方々の一人一人の状況の変化に対応できる体制作り に努力している 本人や家族の訴えを良く聞き、異常の早期発見にも努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員の方や地域包括支援センターの方々からの地域資源の活用についての意見をもらい活用できるように努めている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の要望を踏まえたかかりつけ医を依頼し、定期的な受診、検査、また必要時の往診もできるような体制を整えている	本人や家族の希望を聞きかかりつけ医の受診を支援している。 協力医療機関から毎月2回の訪問診療と毎週1回の訪問看護師による健康チェックを行い、24時間医療連携体制で適切な医療を受けられるよう支援している。半年毎に歯科医の訪問診療がある。他科受診は、基本は家族に協力依頼し、困難な場合は職員が同伴し家族に報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日のバイタルチェックを実施し、日々の観察の中で異常を察知し、看護との連携・相談・助言対応を行っている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には、日々の生活の様子、身体面の状況等に加えどのような経過にて入院に至ったかの情報を入院先に情報提供している 病院関係者との協力体制の関係づくりにも努力している</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針マニュアルは作成しているが、やはり病院でとの声もあり具体的体制作りにはまだ至っていない 今後勉強会等を開催し、受け入れ体制を構築する方向に持っていきたい</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針や看取り介護についてのマニュアルがあり、入居時に説明し同意書を貰っている。状態変化時は家族に説明、意思確認しながら、方針を共有し支援に取り組んでいる。希望で医療機関へ入院された事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故発生時は、速やかに報告書を作成し、今後の対策に取り組んでいる 家族へも状況報告をし理解を貰っている 夜間急変時に対応できるように体制作りにも努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練を実施し、入所者様の身体状況に合った避難方法を理解し、全職員が慌てることのない避難誘導ができるように、また夜間帯など職員人数が少ないときには、関連施設、地域の方々にも協力を頂けるような体制を築いている</p>	<p>火山・地震・津波・水害時のマニュアルがある。年2回の避難訓練を実施し、1回のみ消防署指導の下、昼間想定で通報・消火・避難誘導訓練を実施し、夜間時の対応は助言を貰っている。自主訓練も昼間想定で実施している。訓練状況を写真撮影し記録している。スプリンクラーや火災通報装置を設置している。災害時の、水・茶・缶詰・レトルト食品・ラーメン等を備蓄し、カセットコンロ・ガスボンベ・懐中電灯を備え、防災頭巾を作成中である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>個人情報・秘密保持の研修やミーティングを行い、意識の向上を図り、プライドやプライバシーに配慮している</p>	<p>個人情報保護や秘密保持について資料を配布し研修会を行っている。マニュアルがあり守秘義務の同意書をとっている。接遇の勉強会も実施し、職員間の会話は配慮し、トイレ誘導時はさりげなく声掛けする等、プライバシーを損ねないようにしている。トイレはスライドドアを閉め声かけ対応を心がけている。入室時はノックし声かけし、入居者に苗字で呼びかけ、衣類等も選択できるように設定している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>本人の意思・希望が本人の言葉で表現できるよう「決めつけ」ではなく「選択肢」の提示を行い可能な限り自己決定できるようにしている</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>個々の体調や希望に合わせた起床時間や食事・入浴・昼寝など、ゆとりをもって行うようにしている</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>自己決定を大事にし、不足や表現できにくいところは趣味趣向に沿えるようにしている また訪問美容室の利用で整髪、染髪もできるようにしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食への関心が持続できるように旬の食材利用や個々の嗜好品を把握し、食材の下ごしらえや配膳、下膳など出来ることをお手伝い頂くことで食への関心を高められるように努力している	嗜好調査をして、嚥下機能に応じて一口大や刻み食・代用食に対応している。利用者と配膳や下膳・片付け等を一緒にしている。誕生日は、ケーキを作り、手作りカードを作成したり、ひな祭りや敬老日には和菓子や紅白饅頭で祝っている。お好み焼きや焼きそば・梅のジャム作りも利用者と楽しみながら行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量や食事のチェック表を利用し職員が把握しやすいようにしている 個々の嚥下や咀嚼状態に合わせた食事形態で提供できるようにしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声掛けを行い口腔内の清潔保持・習慣づけに努めている 訪問歯科の往診も頼みより良い口腔内の状態保持に努めている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排便・排尿記録を利用し、リズムパターンの把握に努めている 時間の間隔で声掛けを行っている	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、個々に応じてトイレ誘導し排泄支援をしている。羞恥心に配慮した声かけや対応に努めている。便座に座れなかったが座れるようになったり、リハビリパンツから布パンツに改善する等、排泄の自立に向けた支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分記録や排泄記録を利用し「イン・アウト」の把握に努めメニューやおやつ食材に考慮し、便秘対策をとっている 必要時には主治医に相談している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	時間に囚われず希望に合わせて入浴を行っている シャンプー、リンスなど個人の好みや家族の希望に応じられるようにしている	基本的に週3回入浴で10:00～15:30迄の支援である。希望の時間帯や毎日の入浴にも対応している。同性介助やシャンプー・リンス等も希望に応じて対応している。入浴を嫌がる場合は時間帯をずらしたり、湯温調整・職員交代・翌日にする等、状況に応じて個々に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活リズムや体調を把握し、「昼間」などの休息がいつでも取れるようにつとめている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報をもとに病歴や薬の効能・種類・副作用・服薬方法を全職員が把握し、心身の状況に変化が認められた時は記録に残し医療機関との連携が図れるようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個々の楽しみや役割をもっていたただけくことで、生きがいや楽しみをもっていただけのように支援に努めている</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍の状況で散歩や買い物に出かけることができないため、以前行っていた場所や四季折々の風景等をそれぞれの方の故郷の話題を出して談笑したりして気分転換や季節感を感じていただけるようにしている</p>	<p>ドライブで川辺の磨崖仏や慈眼寺公園での花見に出かけていたが、コロナ感染防止の為、園庭の散歩や敷地内にある菜園にオクラやへちまを育てて生育を楽しんだり収穫を一緒にして、季節を感じてもらえるよう支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族と本人と管理方法を取り決めている。時々本人希望購入品をきいて職員が代理で買い物に行きお渡ししている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話使用希望時には希望に応じられるようにしている。また、職員は席を外すなどしてプライバシーに配慮している。手紙の代読、代筆、投函を行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	個々の好みを把握するとともに好みの音楽やテレビ、季節の飾りを用いて四季を感じていただいている。導線の確保を行い、安全な空間、居心地の良い共有スペースになるようにしている	フロアに空気清浄機を2台設置し換気・温度・湿度を調整し、採光はブラインドで調整している。ソファやテレビがあり、季節の花を飾っている。壁には入居者の書き初めや塗り絵、職員と合作のちぎり絵を飾っている。和室もあり、ゆっくりと居心地よく過ごせるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	今までの生活に慣れ親しんだものを置いたり、使い慣れた物を置いたりして、心の安定する空間作りをしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の馴染みのものや使い慣れた日用品を家族に準備していただいたり、家族の写真等を飾り、居心地の良い空間作りをしている	居室にはエアコン・電動ベット・鏡付き洗面台・ハンガー掛け・5段チェストが設置している。寝具類はリースである。使い慣れた布団や毛布類は持ち込んでいる。仏壇や遺影・お祝いの賞状額縁・孫からの葉書き・家族の写真・花等が飾られ、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各場所入口に目印で分かるようにしたり、廊下やトイレに手すりがあり、安全面配慮、身体状況に応じて車いすや福祉用具等利用して自立にむけた生活が送れるように配慮している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない